

平成 25 年 4 月 22 日

自由民主党政務調査会観光立国調査会
会長 山本幸三 様

公益財団法人日本生態系協会
公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会
会 長 池谷奉文

「観光立国の実現による経済再生に向けた提言」に関する要望

日頃より、国の基盤であります自然環境の保全にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、貴観光立国調査会において、「観光立国の実現による日本経済再生に向けた提言」について様々な観点から総合的な議論が行なわれています。観光は、貴調査会が示す通り、日本の経済再生のための重要な柱と考えます。

しかし、現在までの議論では、日本の重要な観光資源と認識されるべき「日本の野生動植物の魅力」については、「日本の自然」というさらりとした表現が使われているにとどまり、明文化がされていません。

北海道釧路湿原のタンチョウなど、日本の野生動植物は、重要な観光資源であり、海外から多数の観光客を引きつけています。他方、環境省の昨年の報告によれば、絶滅のおそれのある日本の野生生物は 3,500 種を超え、深刻な状況にあります。

観光立国実現の元となる重要な日本の自然がこのような状況にあることを踏まえ、観光立国実現に向けた「提言」には、以下の事項を含めていただくことを要望させていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。

○エコツーリズム、グリーンツーリズム振興に向けた取り組みの強化

他国にはない美しい自然環境や多様な動植物を観光資源としたエコツーリズムやグリーンツーリズムの拡充に向け、関係各省の生物多様性の保全に向けた取り組みを強化する。また、現地の魅力を積極的に発信するとともにエコツアーをはじめとする外国人向けのガイドツアーを促進する。

連絡先

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-30-20

TEL:03-5951-0244 FAX:03-5951-2974